

# 全学広報支援プロジェクト活動報告

南雲 浩二<sup>1\*</sup>、原 正史<sup>1\*</sup>、佐藤 甲輔<sup>1\*</sup>、斉藤 由明<sup>1\*</sup>、小山 哲夫<sup>1\*</sup>、曾山 雅史<sup>1\*</sup>  
岡田 勉<sup>2\*</sup>、伊藤 康雄<sup>2\*</sup>

<sup>1</sup>総合技術支援センター、<sup>2</sup>総務課広報室

## 1. はじめに

本プロジェクトは、当初、全学広報の技術的支援を目的として活動を開始したが、その後、教育学部支援室からの依頼により Web 会議システム（ペーパーレス会議システム）構築における技術支援も手掛け、従来から実施している電子書籍作成とともに、現在では下記の三つのサブプロジェクトが稼働している。

- ① 広報情報の共有・一元的集約のための体制整備（総務課広報室と協働して活動しているもの）。
- ② Web 会議システム構築に向けた技術支援（教育学部支援室から依頼された教授会等の会議資料のペーパーレス化を行うこと）。
- ③ 学内各種の出版物・刊行物の電子書籍化を行うこと。

以下では、これら三つの活動内容について報告する。

## 2. 活動内容

### 2.1 全学広報体制の見直しと技術支援

全学広報支援においては、平成 24 年 11 月から総務課広報室との協働で今年度も継続して広報体制の整備を行っている。

昨年度は、各部局に散在している広報素材のデータ化とその一元管理をすることを目指し、各部局のイベント情報等を共有するため、部局担当者のメーリングリストを作成した。

今年度は、より一層の広報情報集約を目指し、広報情報が流れるのを「待つ」のではなく、積極的に「募る」「取りに行く」という方針のもとに支援を行っていくこととした。具体的には、各部局等のサイトをチェックする、定期的な広報情報の提供を呼び掛けるなどである。また、

CMS の機能や改良、あるいは各部局で連携できる新システム導入などにより、各部局のサイトに掲載された宣伝・広報が、大学トップページに自動で反映されるなどの手段が今後は有効と考えられる。

また、データの一元管理に先立ち、各種広報情報・素材等を保存管理するアーカイブサーバを構築し、各種広報情報を保存してきた。

今年度は、広報素材としての埼玉大学の歴史写真（過去の航空写真や建物の外観など）をフィルムスキャナーにより重点的に電子化しており、それらを撮影年および種類毎に整理している。ここで、年代が古い写真ほど撮影年月日が不明であったり、アルバムポケットから欠けていたり、対象物が特定できない（現在のプロジェクトメンバーでは分からない）、経年劣化、退色等の歴史的問題が生じていることを認識した。まさに歴史を知る人物が去っていくことで失われる歴史的財産・価値の存在である。

今後、こうしたことも念頭におき、迅速な電子データ化、その保存・修正方法、共有方法等について議論していく必要がある。



図 1. 埼玉大学歴史写真

### 2.2 Web 会議システム構築に向けた技術支援

本システム構築における技術支援は、平成 24 年 12 月より教育学部支援室からの依頼に基づいて行っている活動である。

教育学部では、教授会等の会議資料を電子データ化（ペーパーレス化）し、その電子化された資料をタブレット端末で閲覧しながら会議を行う「Web 会議システム」を実施中である。本システムの特徴は、タブレット上に会議資料が保存されず、セキュアな資料閲覧環境が構築できるというものである。

本システムは平成 26 年 4 月から本格運用が開始され、タブレット端末の設定や各種トラブル対応等の支援を行ってきた。しかしながら、

- ・ 端末とサーバとの接続が切れる
- ・ ドキュメントの取込みに時間がかかり過ぎる
- ・ 端末の動作が途中で止まる
- ・ 端末に映し出されたイメージ画像が動かない

といった状況が多数確認されたため、実際の教授会規模の条件下で検証作業を行うこととした。

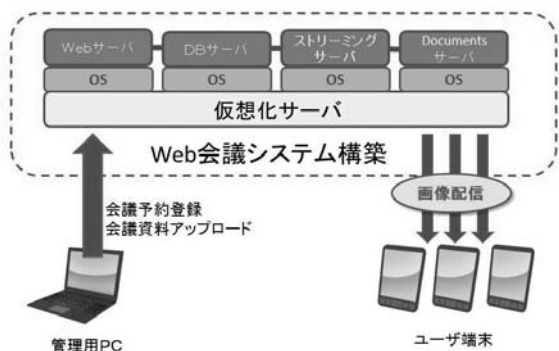


図 2. 「Web 会議システム」概念図

なお、検証作業にあたっては、前日の準備作業を含め、明らかに人員が不足することから、本プロジェクト以外のセンター技術職員にもご協力頂いた。他学部からタブレット端末を借用し、70 台ほどの端末で検証作業を行った。

その結果、閲覧資料の枚数によってタブレットの動作に不具合が生じることが確認され、これらについては今後の運用方法において改善を図る方向で現在検討中である。

今後、教育学部だけでなく、他学部など全学的に導入された際は、同様の支援を行うことも可能である。

### 2.3 学内各種の出版物・刊行物の電子書籍化

理工学研究科広報委員会の井上教授より、埼玉新聞に連載中の「サイ・テクこらむ 知と技

の発信」を書籍化した「理学・工学の散歩道Ⅱ」の電子書籍版の制作を依頼された（「理学・工学の散歩道Ⅰ」は昨年度制作済）。

平成 26 年 4 月から電子書籍制作を開始し、5 月に完成、公開した。同時に宣伝用のリーフレット 5000 部が全学に配布され、本プロジェクトで作成したバナーが埼玉大学トップページに掲載された。

この他、平成 24、25 年度情報メディア基盤センター年報の電子書籍化を実施し掲載中である。今後も、各種学内出版物の電子書籍化を行っていく予定である。



図 3. 電子書籍 HP

### 3. まとめ

今後、広報体制については、各種広報素材の活用を含め、迅速かつ能動的な情報収集・発信が今後の検討課題である。

Web 会議システムにおいては、全学的な導入拡大の可能性を踏まえ、本経験を活かした技術支援が可能である。

ペーパーレス化の流れとともに、各種出版物・資料等の電子書籍化が促進することも考えられ、今回蓄積したノウハウによる技術支援が期待できる。

以下に電子書籍のダウンロードできる URL を記述する。

<http://park.saitama-u.ac.jp/~kohopj/>